

第481回 6/3 (火) 「NPO 法人ブルービ」

出演 雨宮正樹さん(代表・声学家) 富松万里子さん(広報・ピアニスト)
島崎健治さん(事務局長・写真家)

団体設立は2021年11月で、雨宮さんと島崎さんが「音楽がうまく届いていないところにプロの音楽を届けるにはどうしたらよいか」と考えたのが切っ掛けです。

活動は、老人ホームや福祉施設、病院などへの訪問コンサートが中心です。年末には「ブルービまつり」を開催しています。訪問コンサートは、雨宮さんと富松さんの二人で行うことが多いそうです。電源があれば会場はどこでも可。電源がない場合は、富松さんは鍵盤ハーモニカで伴奏されることもあるとか。

島崎さんは、裏方の事務局長、今はお金のことが悩みとのことですが、会場に来られた方が泣きそうになりながら抱きついて来られるのを目にすると、やっていてよかったと思うと話しました。

恒例「ブルービまつり」では、客席との一体感も生まれ、盛り上がり、生コンサートならではの醍醐味を味わえました。新しいことも試し、次につながる手ごたえを感じることができました。今年も12/28に『ブルービまつり』を開きます！



☆7月の出演 第483回 7/1 やまと国際フレンドクラブ(IFC) 第484回 7/15 みんなのスマホ 第485回 7/29 きれいな街からきれいな海に
FMやまと 77.7MHz 第1.3.5(火) 生放送 9:00~9:30 同日再放送 15:00~15:30

TSUBASA's トーク 第44回 「感謝の気持ちの行き先」

6月の中旬、ようやく仕事が落ち着いた時期に、岩手県花泉に住む方々に会いにいった。花泉は僕が3年前、農業や地域行事などを手伝う住み込みのボランティアをしていた場所で、1年の任期が終わってからも、年に3回ぐらいのペースで訪れている。故郷に帰る感覚で、普段通り仙台までの夜行バスと東北本線を使い、大量の手土産を両手にもって訪れた。

通ってしまう理由には、地域の方々が僕の食の好みを知り尽くしていることがある。「到着した朝は、ご近所さんと一緒にBreakfastを食べましょうね」とメッセージを送っていたSさん。この日も手の込んだお食事をご用意してくださった。花泉の野菜を使ったんぱらとサラダ、さっぱりしたそうめんとノンアルコールビール。

ご近所さんのKさんのお庭で食べるとのことだが、行ってみると、お庭の縁を囲うようにカラフルなバラが満開になっていた。話によると、以前NHKでやっていたターシャ・テューダーの生活に憧れているそうで、ヤギやアヒルも飼っていたらしい。こんなお庭で、地元の食材を使った食事をいただくと、間違いなく幸せになれるもので、自分の顔がニヤけていくのがわかった。

別日には、Mさんご夫婦と達谷西光寺に行く車中、職場の人間関係の話聞かせてもらった。地域で聞く人間関係の話には本人に届くとまずいような繊細な面もあるので、そのような話は聞けなかったことにしている。Mさんは数ヶ月前に転職したそうだが、新しい職場では



第482回 6/17 (火) 「このゆびとまれっ！」

出演 新屋幸枝さん(つきみ野学習センター) 石川彰子さん(大和市民社会福祉協議会地域支援課) 辺見弥生(大和市民活動センター)

「このゆびとまれっ！」は、大和市の中学生・高校生を対象に、ボランティアの大切さに気付き、また社会参加の第一歩となるようにと願って実施している事業

各団体の活動メニュー(詳しくはチラシ等でご確認ください)

◎つきみ野学習センター図書室 オリエンテーション: 7/20(日)

◎大和市民社会福祉協議会 ボランティアセンター 「図書ボランティア入門」

「車いすの清掃ボランティア」 「障がい者施設ボランティア」

「子育て支援ボランティア」 「デイサービスボランティア」

「保育入門講座」 オリエンテーション: 7/25(金)

◎大和市民活動センター 「子育て支援サポーター」 「障がい者支援サポーター」

「高齢者支援サポーター」 オリエンテーション: 7/19(土)

石川さん「ボランティアセンターでは、夏休みだけではなく、日頃から福祉関係のボランティア活動の相談対応をしています。ボランティアは楽しいよ」

新屋さん「スタッフたちは、参加者のみなさんが達成感を感じ、楽しくボランティアができたという声を励みとして頑張っています」

辺見「中高生のみなさん！夏休みは塾や部活でお忙しいとは思いますが、ちょっと勇気を出してみませんか。分からないことがあったらいつでもお電話を」と呼びかけました。



同僚の人たちがすでにMさんの職歴や家族構成、ご主人の性格まで知っていたらしい。「なんでこんなに知っているの！」とMさんご自身も驚いたそう。

「うわさは、このあたりでは何世代分も伝わるからねえ。」と、若干怖い話ではあったが、今回は「普通の話」で良かった。僕自身がこうした人間関係の中でやっていけたのは、うわさに疎い能天気さがあったからかもしれない。



地域の方々はお互いの事情についてもよく知っている。それを話してくれるあたり、信頼も感じる場面も多い。もちろん、お互いをよく知っていることで、良い時もある。

お寺から帰宅後、Sさん宅にて、Mさんも一緒にコーヒーを飲みながら雑談した。海外旅行の話になり、Mさんは「私のいとこがヨーロッパで結婚して生活しているんですよ」と。僕がちょうど夏にヨーロッパを旅行することを計画していると話すと、話が次々と進み、旅行中に会えるかもということに。Sさんは「人生何がおくるかわからないのが楽しいのよねえ。趣味もそうだけど、一歩踏み出してみるといいのかもよ」と言っていた。

ボランティアを終えて3年経っても、こうして食事に呼んでくれたり話を聞かせてくれたりする地域の方々には、今でも感謝しきれない思いであるが、どうすればこの気持ちを上手く発散できるだろうか。少しでも地域の方々との関係を育てていけるようなことを続けていきたい。(サポーター 尾畑翼)



あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

あの手 この手

あの手この手のマークの間のSIはsolution(解決)のSです。

第216号 2025年 7月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行

7月号
2025

ペテルギウス玄関
7月8日の生け花



第17回 全体テーマ 守りたい、平和な世界

Office KAZU 賞 受賞

ハザン ハードマン アイミさん(フィリピン・ペルー) 緑野小学校 当時5年

タイトル「みんな なかよし」

メッセージ 世界中の人たちがみんな仲良くなって、戦争をしない国が増えてほしいです

表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催<やまと国際アートフェスタ>の入賞作品を毎号掲載しています

☆「やまと国際アートフェスタ」は、「やまと国際フレンドクラブ」(IFC) *の主催で毎年開催されています。

☆「IFC」は、草の根の国際交流、外国人支援を行っている、「ともにくらすまち大和」を考えるボランティアグループです。

大和市協働事業提案公開プレゼンテーションが開催

令和7年度「大和市協働事業提案公開プレゼンテーション」が、6月28日に市役所会議室棟会議室で開催されました

今年度の提案は「家庭訪問型子育て支援ホームスタート」(協働事業者は、特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブチャイルドケア。市担当課はすくすく子育て課)の1件で、当日は、提案と質疑が行われました。

なお、この日の提案については、協働推進会議での質疑を経て、8月26日(火)に審議結果が発表される予定です。



「出張！ボランティア総合案内所」を開催

大和市は、ボランティアに少しでも興味、関心のある人が気軽に活動について相談できる窓口として、大和市役所つながり推進課内に「やまとボランティア総合案内所」を設置しています。より多くの皆さんにボランティアに関する情報をお届けするため「出張！ボランティア総合案内所」を開催します。ぜひお立ち寄りください。

〇と き 7月23日(水) 11時~19時
24日(木) 10時~16時

〇ところ イオンモール大和(鶴間駅 徒歩6分)
1階ウオーターコート

*事前申し込みは必要ありません。

〇問合せ 大和市役所つながり推進課 電話 260-5103

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第216号 発行日: 2025年 7月10日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>
<休館日 12月29日~1月3日・毎月第3月曜日>
〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokyoten.com/

第112回 共育セミナー

知的障がい・発達障がい児者の家族や支援者を一人で悩ませない「手をつなぐ育成会」とお話ししてみませんか！
ゲストスピーカー 内出 裕子さん
 （大和市手をつなぐ育成会会長） 開催(6月28日)報告



今回の共育セミナーは知的障がい・発達障がい児者を暖かい愛情で守っている家族や支援者を一人で悩ませないことをテーマとしました。知的障がい・発達障がい児者を育てること、また一緒に生活する中で、ご家族にご負担がかかることや悩むことなどがあると思います。

また、うまくいかないことがあったときに、自分のせいだと自身を責めてしまうご家族や支援者も多いと思います。それは、知的障がい・発達障がい児者のことを大切に思って一生懸命に生活をされているからです。

そんな頑張っているご家族や支援者が、悩んだ時や寂しいと感じているとき、また自身を責めているときに孤立させないことが、最も大切なことだと考えます。

今回、ゲストスピーカーをお願いした内出裕子さんが会長をなさっている「大和市手をつなぐ育成会」は、知的障がい・発達障がい児者等の親や支援者で構成された全国組織の団体です。

知的障がい・発達障がい児者のご家族など孤立させない活動に積極的取り組んでおられます。特に、一緒に過ごす時間が長く負担が大きくなる母親の気持ちに寄り添い、一人で悩まないように、先輩ママなどの悩みを共感できるメンバーが活躍されています。

セミナーでは、知的障がい・発達障がい児者の母親やご家族を孤立させない、「大和市手をつなぐ育成会」の活動の大切さや、さまざまな活動の内容やその成果などを多くの方に知っていただくとともに、孤立しないように親睦を深めること。そして、頑張っている母親やご家族、また支援を考えている方に、「大和市手をつなぐ育成会」に参加していただけるように、PR(情報発信)することを目的としました。

また、親同士の交流会や情報交換会。また、発達障害のある子どもたちの特性を理解し、その特性に合った支援を行うことを目指している「オルカの会」の活動もご紹介いただきました。(担当者の想い:白井博)

大和市手をつなぐ育成会

わたしたちは
大和市の知的障がい・発達障がい児者と
その家族、支援者の会です。
あなたも仲間になりませんか？



育成会としての主な活動は、
障害者の為の情報発信や勉強会・見学会の
実施の他、連合会としての要望活動や野外
行事、「オルカの会」とタッグを組んでの余暇
活動です。内ページをご覧ください！



関係団体との連携・組織図

全国手をつなぐ育成会連合会

神奈川県手をつなぐ育成会



大和市手をつなぐ育成会

オルカの会

大和市
心身障害児者福祉団体連合会

大和市身体障害者福祉協会

連合会としての活動は・・・

- 大和市行政への要望書提出と懇談
- 大和市議会議員との懇談会
- 野外行事(泉の森)
- 赤い羽根共同募金活動協力



参加者のアンケートから (抜粋)

この日は、高校生も含めて、12名の参加を得て開催しましたが、後半のワークショップでは活発な意見交換がなされました。

●「大和市に支援学校を作ってほしい(県のマター)高校生になったら、自立で通えというのは無理。通学支援がない大和市では、保護者が送っていけない時にはこどもを休ませるしかない。無理やりお母さんにやらせようとするシステムではお母さんが病んでしまう」という現状が心に刺さりました。

●知らないことばかりでしたが、いろいろ知ることができました。是非、大和市に支援学校をつくってほしい。

●日々努力をされていることがよくわかりました。子どもさん一人ひとりで活動に違いがあり、大変さを感じます。

●行政が継続的にサポート、支援に取り組むべきと思いました。私たちは知的障がい者に対して理解を深めることが大切だなと思いました。



市民活動センター利用登録更新申請書から 2024年度を振り返って その2

毎年この時期にセンター利用登録団体から更新申請書を提出して頂いていますが、その中から昨年度の活動の振り返りを前号に引き続きご紹介します。

● 特定非営利活動法人たんぽぽ障がい者自立支援たんぽぽ事業所パン工房麦の香り

利用者さんの人数も増えず、物価高騰のため、値上げをせざるを得ない状況の中、少しでも工賃アップを目指し、焼き菓子の商品を企画・作成したり、受注作業に力を入れるよう努めました。ずっと止まっていたイベントが復活したこともあり、楽しい雰囲気の中で活動することができ、活気があるのはうれしいことです。カッコーフェスタでも活動の様子を少しでも多くの方に知っていただきたくパネル展示をさせてもらいました。更なる躍進をしていきたいと願っています。

● 結まある

カッコーフェスタに初参加させていただき、地域の方々との交流や達成感を得られた。

● 特定非営利活動法人かながわ難民定住援助協会

「人材の確保(ボランティアの高齢化に伴う)」、「教室開催場所の確保」が共通の課題となっている。

● 特定非営利活動法人NP0 あつぎみらい21

コロナの影響を脱し、ほとんどの活動を以前同様に行うことができました。また、新しい事業を検討するなど、参加者・活動の場を広げる取り組みを始めました。今年度は、前年度の活動に加えて、製造現場リーダーを育成するセミナーの開催、ホームページをリニューアルして活動内容を紹介し、活動に参加する事業者や会員を増やす取り組みを行う予定です。また会員同士の親睦をはかるためのイベントなどを実施することを考えています。

● emotional connection

昼間来れる人が少ないので、随時にしようと思っています。そのなかでも昼間しか来れない方がいるので参加しやすいワークショップと一緒にしていけたらと思います。夜は自分も働いている人も来やすいみたいです。今後とも皆さんが来てみたいエモ会をつくっていこうと思います。

あの手この手6月号にて、左の当センター登録団体「ハッピーウインズ」の田上智子さんにブラックボードにデザインいただいたすてきな新作看板をご紹介させて頂きましたが、当方の不手際で、完全な形で掲載できませんでしたの再掲させていただきます。申し訳ありませんでした。

さて、その**市民交流カフェ**ですが、今年度から、高校生など若いボランティアが参加してくれるようになり、会場準備や、運営などを担ってくれるようになりました。これは大きな変化です。相変わらず来ているこどもたちは小学生が主ですが、年齢の近い、おねえさん、おにいさんが、そばにいてくれることによりどんな化学変化が起こるか。スタッフとしてはそれを見守っていこうと思っ



ていくとともに、ここに集う人はみんな対等。上下関係はない。そんなことを大切にしていこうと思っています。

ベテルギウスは、「暑くて困ったらここでひと涼みひと涼みスポット」になっています。大変な猛暑です。是非市民交流カフェにお立ち寄りください。(毎月第1土曜、第3水曜の15時から17時30分まで)

特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ ケアビーくる 5月18日(日) 大和市保健福祉センター

昨年に続き、総会に参加させていただきました。
 高齢化が進み、本人や家族だけでは、外出することが難しくなっている現状があり、ケアビーくるの需要はさらに増えていると思いました。
 一方、昨年の総会でも感じたことですが、運転手さんなどの人手不足や物価高騰などによる経費増大の現状がありました。
 その中で、あの手この手と知恵を絞って、人員を確保し、さらに助成金なども活用して、しっかり運営されていることに感激しました。
 また、河崎民子さんから、ワーカーズ・コレクティブの成り立ちや働き方についての学習会があり、大変興味深いお話を聴かせていただきました。

最後は、久しぶりに参加された運転手さんなども含めた、小グループになり、自由楽しく意見交換を行いました。
 総会は、懐かしく温かい雰囲気の中で終了しました。

報告 白井 博

6月の展示コーナー

大和地区日中友好協会

市民交流スペース内の「展示コーナー」では、個人・団体の活動の紹介や作品展を行うことができます。申込み方法については大和市民活動センターまでお問い合わせ下さい。

共育ボードより



折しも、和歌山県白浜町アドベンチャーワールドのジャイアントパンダ4頭が、6月28日に関西空港から中国・四川省に帰国。こどもたちの多くがパンダのイラストを描いてくれました。

★日中友好のシンボル～双子のパンダちゃん～なんとか



わいっ
 平和の祈りをこめて
 世界の人々に見てほしいです!!